



## 津田沼小学校

1873年11月1日創立 児童588名

朝日だしせいを  
さわやかに  
みらいへしせいを  
さわやかに  
さわやかに  
さわやかに  
みらいへしせいを  
さわやかに

朝日だしせいを  
さわやかに  
みらいへしせいを  
さわやかに  
さわやかに  
さわやかに  
みらいへしせいを  
さわやかに

校歌

作詞 木島 始  
作曲 間宮芳生



## 大久保小学校

1873年11月1日創立 児童737名

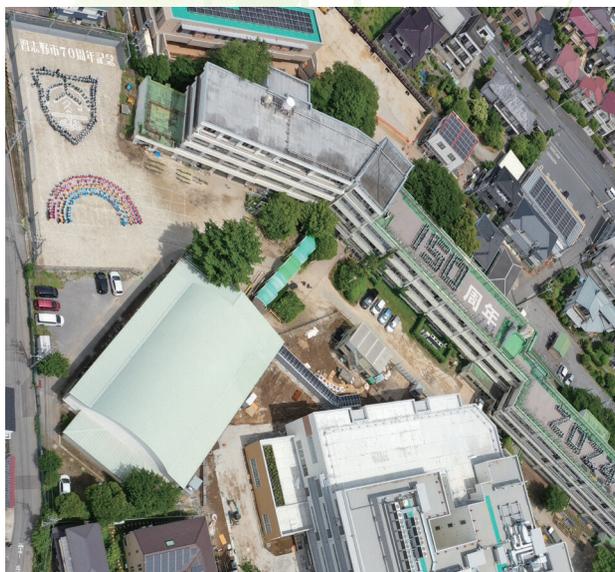
一 明るいきよ 白い雲  
浮かんで動く かなたから  
東京湾の 潮風が  
やさしく呼んでる 大久保校

二 八幡様の 森近く  
遠い昔に たてられて  
その名も高い 習志野の  
歴史輝く 大久保校

三 このめぐまれた まなびやに  
きょうも励もう 人の道  
力を合わせ 智を磨き  
あげようその名 大久保校

校歌

作詞 平野尚正  
作曲 諸井三郎



## 谷津小学校

1951年4月1日創立 児童1,298名

一 沖の潮 白帆かよいて  
蒼空のはて 富士は聳えぬ  
仰ぎつと われらの窓  
谷津の谷津 空も海も  
潮なりのひびく丘  
輝けり 空も海も

二 袖ヶ浦 月は匂いかご  
潮騒よ 夢のゆらめき  
すこやかに われらの海  
育ちぎぬ この海  
谷津の谷津 空も海も  
輝けり 空も海も

三 校庭にみる 松はそよぎて  
すずかけは 窓にささやく  
集いつつ われらの坂  
かよいきし この坂  
谷津の谷津 空も海も  
輝けり 空も海も

四 習志野の 光あつめて  
校風は 華と薫りぬ  
そのひかり われらの窓  
かかひなり この窓  
谷津の谷津 空も海も  
輝けり 空も海も

校歌

作詞 稲葉晃三  
作曲 石黒一郎





## 鷺沼小学校

1953年4月1日創立 児童707名

三 岡明けくれば いち早く  
朝日のひかり 照りそいで  
みんなたのしく いきいきと  
学ぶもうれし さぎ沼校

二 かげふかぶかと 明神の  
玉ぐすしげる 森の空  
富士のすがたの 正しさを  
朝夕あおぐ さぎ沼校

一 波あたたかに 潮かおる  
そでしが浦を 見わたして  
高くかがやく まなびやは  
その名も清い さぎ沼校

校歌

作詞 神原克重  
作曲 井上武士



## 実籾小学校

1954年9月16日創立 児童310名

三 あがるひばりに 飛躍を思い  
松の木かげに 未来を語る  
意気と純情 燃えたつところ  
習志野の駒 われらは進む  
行手はてなく われらは進む

二 実籾ゆたかに 理想もみのる  
栄えのふるさと 叡智の泉  
空を仰げば 夢また廣く  
感激の歌 はるかに満ちて  
明日の世界の 文化を描く

一 丘の光は 希望をこめて  
松のみどりに 若鳥つどう  
つねに生気の みなぎるところ  
習志野の花 われらはひらく  
力集めて われらは進む

校歌

作詞 勝 承夫  
作曲 平井康三郎



## 大久保東小学校

1963年4月1日創立 児童437名

二 真心呼び出せ 火を燃やせ  
もつともつと燃やせ 負けるじゃない  
ラランラララ 太陽が叫んでいる  
そうだ チャンスチャンス 逃さずに  
掴もうよ活かそうよ ばら色の  
夢を追って進もうよ  
ほくもわたしも みんなみんな  
望み豊かな 大久保東健児

一 芝生に飛び出せ 手を伸ばせ  
もつともつと伸ばせ ここまで来い  
ラランラララ 青空が招いている  
そうだ ファイトファイト 忘れずに  
学ぼうよ遊ぼうよ 根かぎり  
助け合って励もうよ  
ほくもわたしも みんなみんな  
ひとみ輝く 大久保東健児

校歌

作詞 斎藤信夫  
作曲 平岡照章





## 袖ヶ浦西小学校

1967年7月16日創立 児童188名

二  
のぞめばますみの空とおく  
いつでもみまもる富士の山  
喜びも 悲しみも  
わかちあい  
強い子も よわい子も  
助けあい  
夢 夢 おおらかに  
愛 愛 こまやかに  
育てよう みんなで  
われらが母校

### 校歌

作詞 斎藤信夫  
作曲 平岡照章

一  
むかしはきれいな海だった  
見わたす団地の袖ヶ浦  
学ぼうよ はげもうよ  
こんかぎり  
遊ぼうよ 歌おうよ  
思いきり  
風 風 さわやかに  
声 声 ほがらかに  
たたえよう みんなで  
われらが母校



## 東習志野小学校

1969年4月1日創立 児童731名

二  
みどり濃い 松の 並木路  
師の君の めぐみも 深く  
ここに つどい  
朝ごとに 笑みを かわして  
新しい あしたを めざす 若鳥  
若鳥の日々を はぐくむ  
東習志野小学校

### 校歌

作詞 高田敏子  
作曲 一ノ瀬義孝

一  
きよらかな ひとみよ ひとみ  
すこやかな ころろよ ころろ  
ここに つどい  
ともに まなび ともに きたえて  
大空に 巣立つ日 めざす 若鳥  
若鳥の日々を みちびく  
東習志野小学校



## 袖ヶ浦東小学校

1969年4月1日創立 児童256名

三  
我が学舎に 満ち満ちた  
希望と 愛と 友情で  
力を合わせる 喜びを  
たたえよ とわに 東小

### 東小みんなのうた(校歌)

作 池田早苗  
松谷幸洋

一  
のぼる朝日を 受けながら  
ひとときわ 高くそびえ立つ  
我が学舎よ 東小  
友よ 励もう こんかぎり

二  
前に広がる 海原に  
希望あふれる 陽の光  
はえる 我らの袖ヶ浦  
響け 歌声 高らかに





## 屋敷小学校

1972年4月1日創立 児童767名

### 校歌

作詞・作曲 石原隆一

- 一 みどり輝く 学校に  
風が光るよ 希望の朝だ  
明るい 瞳を 大空に  
むけて学ぼう 励もうよ  
みなぎる力 ほくらの誇り
- 二 もえる太陽 きらめく雲に  
伸びる若木が たくましい  
走れよおどれよ 高くとべ  
青い芝生が 呼んでいる  
丸く輪になれ すこやかに
- 三 ひかりあふれる この窓に  
ひびく歌声 明るい笑顔よ  
みんなでちかった この胸に  
あしたの息吹きが きこえる  
やしき小 輝く母校



## 藤崎小学校

1974年4月1日創立 児童562名

### 校歌

作詞 白倉肇二郎  
作曲 小野孝一

- 一 朝日に光る 谷あい  
やさしく風が ささやくよ  
緑の森に かこまれて  
白くそびえる 学舎が  
ほくらの ほくらの 藤崎小
- 二 ここ藤崎の 千年の  
歴史を語る 大いちよう  
希望に燃える 若鳥の  
高く 明るい 歌声よ  
ほくらの ほくらの 藤崎小
- 三 体をきたえ 知をみがき  
正しく豊かな 人になる  
こころひとつに 助け合い  
輝く伝統 築こうよ  
ほくらの ほくらの 藤崎小



## 実花小学校

1975年4月1日創立 児童617名

### 太陽の歌(校歌)

作詞・作曲 高岡良樹

- 一 太陽が歌う よろこびは  
広がる宇宙へ 希望を伸ばす  
いつも明るく 力強く  
実花に学ぶ われらの歌
- 二 習志野の花は 美しく  
広がる大地へ 実りをめざす  
むすぶ友情 力強く  
実花に学ぶ われらの歌
- 三 ふるさとを巣立つ 真心は  
広がる社会の 明日を創る  
ひびく歌声 力強く  
実花に学ぶ われらの歌  
実花小





## 向山小学校

1975年4月1日創立 児童327名

### 校歌

作詞 稲葉晃三  
作曲 月岡弘一

一 咲いたこぶしの 白い花から  
まぶしい春が こぼれてる  
心の花は 豊かにかおり  
掲げて学ぶ 元気にわれら  
ああ 向山 緑もえでる小学校

二 若葉ささやく 丘はさわやか  
遙かな空に 富士を見る  
流れる雲に 理想をのせて  
鍛えて強く 伸びゆくわれら  
ああ 向山 緑かがやく小学校

三 木立吹きあげ とよむ潮風  
遠くに海が 光ってる  
心はひとつ 手を取りあって  
希望の明日へ 羽ばたくわれら  
ああ 向山 緑あふれる小学校



## 秋津小学校

1980年4月1日創立 児童221名

### 校歌

作詞 小林純一  
作曲 中田喜直

一 あかるい朝の 大空と  
木々のみどりを うつつ窓  
そうです ここは 名も秋津  
やがては あの空 とびかける  
強い力の 育つところ  
習志野秋津 みんなの秋津

二 波立つ海を 埋め立てて  
できた この町 この校舎  
そうです ここに また きょうも  
かがやく光を 浴びながら  
声を合せて 歌うところ  
習志野秋津 みんなの秋津

三 秋津と空の 校章が  
光りきらめく 旗の下  
足音高く ほこらしく  
理想を目ざして ただ進む  
誓い新たに 結ぶところ  
習志野秋津 みんなの秋津



## 香澄小学校

1981年4月1日創立 児童221名

### 校歌

作詞 斎藤信夫  
作曲 平岡照章

一 潮風寄せる グランドで  
跳べ跳べ 走れ 思いのままに  
みんな みんな 楽しく たくましく  
はずむ体を 鍛えよう  
学び舎高く 果て遠く  
水平線に富士の影  
希望に燃えて いざ立とう  
ラララ 香澄 香澄 母校と共に

二 自律を誇る 窓のなか  
押せ押せ 習え 力の限り  
みんな みんな 明るく いさぎよく  
耐える心を 育てよう  
たゆまず励む 人の世の  
延長線に悔いはない  
理想を求め いざ行こう  
ラララ 香澄 香澄 母校よ常に





## 谷津南小学校

1986年4月1日創立 児童928名

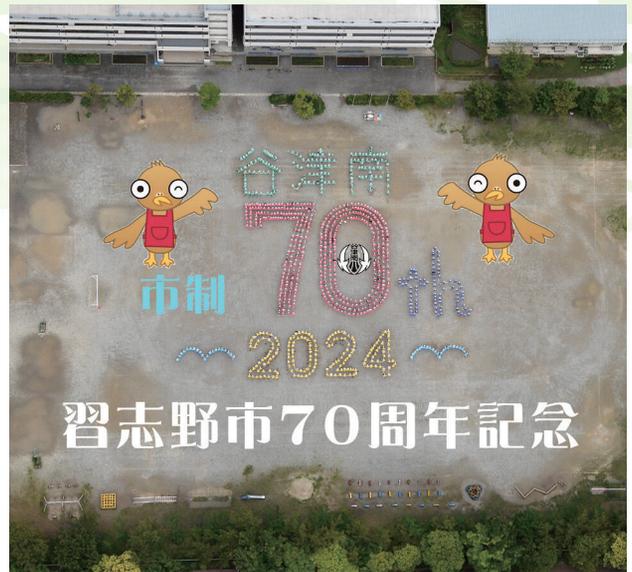
### 校歌

一 あげ潮に飛び立つ水鳥の  
声もあかるい谷津干潟  
渡り鳥をも友として  
希望の空へ羽ばたけば  
のびるのびる すくすく伸びる

二 バラ園の面影のこし  
風にやさしく匂うバラ  
花の心を受けとめて  
仲良くみんな肩くめば  
みえるみえる 輝く未来

三 潮風にささやく緑  
富士をはるかな空に見る  
四季の野鳥を窓に呼び  
ふくらむ夢をはぐくめば  
ひかるひかる 緑がひかる

作詞 稲葉晃三  
作曲 月岡弘一



## 第一中学校

1947年4月30日創立 生徒749名

### 校歌

一 袖が浦 波も静かに  
平和の虹はかかるなり  
樂しや 我が学舎  
智慧のともしび  
いよよ明るく 清らけく  
富士の如くに自ら立ちて  
道をつくさむ つらぬかむ

二 菊田川 水に影する  
正義の星を汲うなり  
うれしや わが友どち  
徳のしら珠  
いよよさやけく 美しく  
海のひろげき心を持ちて  
人をゆるさむ 愛しまむ

三 津田沼の丘のみどりに  
文化の花は匂うなり  
親しやわがふるさと  
夢のゆりかご  
いよよゆたけく 睦まじく  
空に祈りて 望みをかけて  
ちから協せむ いそしまむ

作詞 大木惇夫  
作曲 堀内敬三



## 第二中学校

1949年8月31日創立 生徒591名

### 校歌

一 燃えたつよ 若い力  
かがやくよ 明るい希望  
平和の広野 習志野に  
みどりと薫り 花と咲く  
自主の精神 二中のわれら

二 澄みわたる 空に映えて  
富士が嶺も はるかに呼ぶよ  
友情こもる まなびやは  
円かに高く あたたかく  
明日の理想の わきたつ泉

三 この庭に 風は清く  
この窓に ひろがる海よ  
夢大らかに たゆみなく  
真理を求め 進むもの  
たぎる純情 二中のわれら

作詞 勝承夫  
作曲 平井康三郎





## 第三中学校

1967年7月16日創立 生徒344名

### 校歌

- 一 朝日に映えて 富士はるか  
高き理想の 学び舎に  
真理の光 求めゆく  
はげむわれらの 姿あり  
ああ 三中生 どこまでも
- 二 袖しが浦に 風そよぐ  
若き力の 校庭に  
不屈の体を きたえゆく  
きそうわれらの 姿あり  
ああ 三中生 たゆみなく
- 三 大空あおく すみわたり  
広き心の わが友が  
友情の輪を ひろげゆく  
睦むわれらの 姿あり  
ああ 三中生 とこしえに

作詞 佐藤守孝  
作曲 芳賀宗隆



## 第四中学校

1969年4月1日創立 生徒823名

### 校歌

- 一 未来を築く 習志野に  
白亜の殿堂 そびえたつ  
心をふるわせ 松籟に  
自主と理想を 求めつつ  
おお築こう 我等の四中
- 二 花も開いた 窓あけて  
仰げ希望の 大空を  
秀でて清い 富士が嶺に  
真理と知性を 研きつつ  
おお築こう 我等の四中
- 三 友情こもる 学庭に  
緑の芝生 陽に映えて  
樺の大樹に 願ひ込め  
力と意志を 鍛えつつ  
おお築こう 我等の四中

作詞 尾形弘道  
作曲 根本陽



## 第五中学校

1978年4月1日創立 生徒726名

### 校歌

- 一 大らかに  
今日の光が 溢れてる  
空に 海に 野に 窓に  
わたしたちの心に  
繰り返せない今日のいちにち  
広く学ぼう 鍛え合おう  
わたしたち  
習志野五中の友
- 二 爽やかに  
明日の香りが招いてる  
知恵を 力を 試みを  
わたしたちの若さを  
喜び 分かち 明日の図らい  
深く学ぼう 語り合おう  
わたしたち  
習志野五中の友

作詞 吉野弘  
作曲 高橋正夫





## 第六中学校

1978年4月1日創立 生徒534名

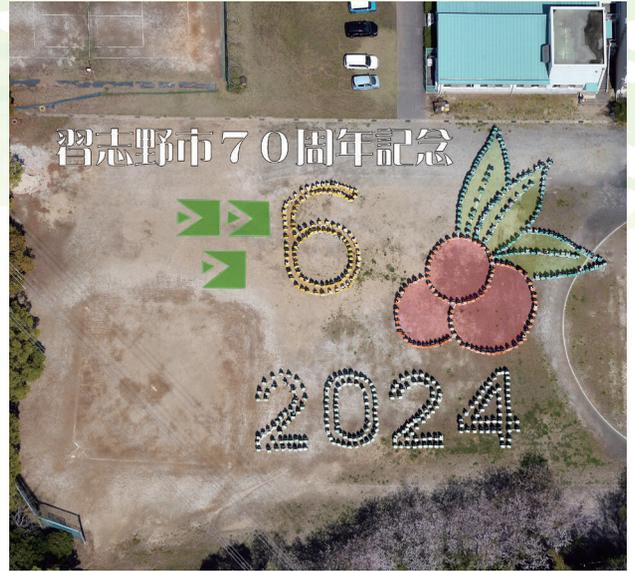
三 天津の森に 風そよぎ  
夕映えの色 あかあかと  
学びの庭を 染むるころ  
創造の道を 拓き行く  
努力の汗の 尊さを  
共に讃えん 栄えあれ  
六中 六中 われらが誇

二 山ももの樹に 風薫り  
肩を並べて 友と入る  
学びの門に 光あり  
連帯の輪を 結ばずば  
月の桂を 如何にせん  
共に進まん 腕組みて  
六中 六中 われらが力

一 若草萌えて 風歌う  
習志野原に 陽が昇り  
学びの窓は 輝やけり  
自主の扉は 押し開き  
集いて学ぶ 喜びを  
共に歌わん 高らかに  
六中 六中 われらが希望

校歌

作詞 沢田繁二  
作曲 高橋正夫



## 第七中学校

1980年4月1日創立 生徒316名

三 夢語る 俊秀の集い 瞳澄む  
わが学友 ゆたかな情深めつつ  
日に日に新た 日に新た  
未来を誓う友愛の団結 かためる三年  
栄あれ 習志野第七中学校

二 花香る 若人の英知 溢れ満つ  
わが学舎 携まぬ力願いつつ  
日に日に新た 日に新た  
世紀を拓く研学の讃歌 あかるく響く

一 風光る 新興の大地 香澄野は  
わが郷土 かがやく歴史刻みつつ  
日に日に新た 日に新た  
宇宙をかける鳳の志 はぐくむ処

日に新た(校歌)

作詞 伊橋虎雄  
作曲 田久保裕一



## 習志野高等学校

1957年4月1日創立 生徒945名

三 君知るや ここ津田沼の  
風徒る丘に 今日も雨々と  
燃えやまず 真理の光明々と 四海を照らす  
これぞ 叡智と愛の学舎 我等が母校 習志野  
おお 響え立て 誇りもて 美しく  
永久に 永久に 永久に 碧空に

二 君知るや ここ津田沼の  
海光る丘に 今日も鈴々と  
鳴りやまず 優しき調べ 穏かに 四海をつつむ  
これぞ 叡智と愛の学舎 我等が母校 習志野  
おお 響え立て 誇りもて 美しく  
永久に 永久に 永久に 碧空に

一 君知るや ここ津田沼の  
花薫る丘に 今日も鬱勃と  
湧きやまず 青き雲波 遅しく 四海を望む  
これぞ 叡智と愛の学舎 我等が母校 習志野  
おお 響え立て 誇りもて 美しく  
永久に 永久に 永久に 碧空に

校歌

作詞 山田継雄  
作曲 森脇憲三



# 習志野市文教住宅都市憲章(前文)

昭和四十五年三月三十日議決  
改正 昭和六十年三月二十八日議決

わたくしたち習志野市民は、わたくしたちおよび次の世代をになう子どもたちのために、静かな自然をまもり育てていかなければなりません。

それは、教育および文化の向上をささえるまちづくりの基盤となるものであり、健康で快適な生活を営むために欠くことのできない基本的な条件だからです。

しかし、人間はすぐれた文明をつくりだすいつぱう、自然を破壊し、わたくしたちの生命、身体をむしばみ、教育および文化の正常な発展を阻害していることも事実です。

そこで、わたくしたち習志野市民は、ひとりびとりの理解と協力のもとに、創意工夫し、たゆまぬ努力をつづけながら、理想とするまちづくりのために次のことを宣言し、この憲章を定めます。

一 わたくしたち習志野市民は、青い空と、つややかな緑をまもり、はつらつとした若さを失わないまちをつくりまします。

一 わたくしたち習志野市民は、暖かい生活環境をととのえ、住みよいまちをつくりまします。

一 わたくしたち習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化をはぐくむ調和のとれたまちをつくりまします。

# 習志野市歌

長橋正宣 作詞  
富澤裕 作曲

一 朝の陽溢れて さわやかに

水辺の鳥たち 歌だより

自然の息吹が みちみちて

大地にみどりの みどりの風が吹く

好きですふるさと 習志野は

夢と希望を 紡ぐまち

二 歴史は床しく とこしえに

育む文化と 幸ゆたか

新たな芽生えを もりあげて

頑張る元気が 元気が胸に湧く

好きですふるさと 習志野は

行手明るく 拓くまち



習志野市歌

## 市制施行70周年記念誌 航空写真集

発行日 令和6(2024)年10月26日  
編集 習志野市  
発行所 ユニオン・エンタープライズ株式会社

許可なく転載・複製することを禁止します。



習志野市

2024年9月24日 津田沼ザ・タワーから撮影